

37. 教育施設の剪定活動を行い、子ども達に安心、安全な環境を提供

グループ名 レイカ湖南剪定会

代表者 真坂 武良

① 活動の目的

- ・「樹木が正しく生き育っていくための手入れや保護」と、「長年放置状態にあった樹木と、建造物などとの調和」による景観を考慮した「環境整備」を目標とし、教育施設や公園での剪定活動により、子ども達に「安全で、安心のできる場所」を提供し、健全な育成を支援する。
- ・一般市民を対象とした「自宅でできる庭木の剪定講座」を開催し、樹木に親しみ理解を深めるための啓蒙活動を行う。

② 活動概要

レイカ湖南剪定会は、高齢者が新しい知識、教養、技術を身に付けるために設立された60歳以上が学ぶ、滋賀県レイカディア大学園芸学科の卒業生、在校生が地域貢献の一環として、市内の高校、中学校、小学校、保育園、こども園の計10ヶ所の施設で、樹木の剪定、伐採等の環境整備や、天然記念物「ウツクシマツ」の保護・育成活動を行っている。また、一般市民向けに「自宅でできる庭木の剪定講座」も開催している。

活動は、2010年より始まり、順次対象施設の数を増やし、今では10ヶ所にもなっており、毎月活動する施設、2ヶ月毎に活動する施設、3ヶ月毎に活動する施設等々状況に合わせて、少なくとも毎週1回は活動を行っている。平成28年度では、25名のメンバーで、休会月を除く10カ月で、37回、延べ参加人数426人で剪定活動を実施し、対象施設、市の担当部局より大変喜ばれ、継続を期待されている。

近年、これらの施設では予算が削減されており、植栽されている樹木は剪定作業が全く行われなくなり伸び放題になっている。景観的に見苦しいだけでなく、窓からの採光が悪く室内が薄暗くなり、精神的に憂鬱な感じを与えている。さらに問題なのは樹木が伸び放題になっている箇所は視界が遮られ外から見えなくなるような状態で、その中で子ども達が非行に走ってしまうことも考えられる。

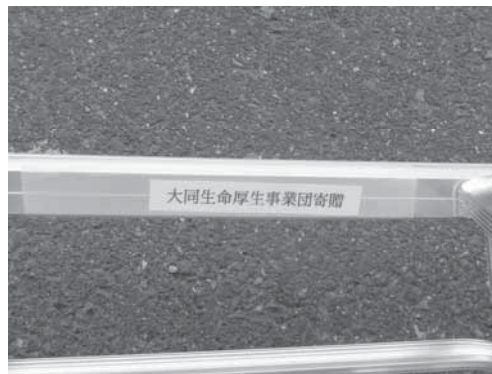
樹木の剪定を行うことにより、以下のように子どもの健全な身体を育てられると思って活動を続けている。

- ・樹木の剪定により視覚の遮りを防止し、先生や父兄が周囲の監視ができ、子どもが非行に走ることを防止できる。
- ・樹木による窓からの光の遮りを防止し、室内を明るくすることにより子どもが明るく精神的に豊かで健全に発達することが期待できる。また、教職員にとっても明るく働きやすい環境になり情緒豊かな教育を行うことが可能になる。
- ・校内の景観を良くすることにより、子ども達が環境の良さを認識し、さらなる勉学向上が期待できる。
- ・剪定を行うことにより安全で安心のできる環境を提供することができる。

また、一般市民向けには、「自宅でできる庭木の剪定講座」と題して、市の広報で募集し、講義と実技セットの講座を年に2回開催している。毎回15人程度の受講生があり好評を得ている。自宅の庭の樹木の剪定を自分でできるようにとのねらいで、「なぜ剪定が必要か」、「剪定の時期」、「剪定の方法」、「剪定用具の使い方」から「病害虫の防除」まで、実例と実技で習得してもらっている。

助成金で購入した園芸用三脚

施設の樹木の状況に合わせて、大きさ、台数および既設の台数とを考慮し、各施設に常設設置としている。



新規購入明示シール

園芸用三脚を使用した剪定活動の実際



剪定活動の実際

活動前



活動後



剪定講座

講義の様



実技の様



③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	園芸用三脚および防犯用チェーン、南京錠 (大・10尺：1台、中・8尺：9台)	111,127円
	剪定部塗付薬、チェーンソー燃料他	5,288円
	廃材運搬用軽トラック借用料 (施設内運搬 16回 ¥300/回) (施設外運搬 6回 ¥500/回)	7,800円
	庭木の剪定講座材料費	4,000円
	合 計	128,215円